

清須市清須市次世代育成支援行動計画事業評価について

1 事業評価の方法

施策別の「制度の啓発周知度」、「他の部署との連携」、「施策の総合検証」の達成状況を把握するため表 1 に示すように各評価項目を点数化し、次記の算式に基づいて達成率を算出しました。

$$\text{達成率} = \frac{\text{各評価の点数の合計}}{\text{各評価の満点の合計}}$$

表 1

制度の啓発周知度	点数	他の部署との連携	点数	施策の総合検証	点数
できている	3 点	常に連携	3 点	良好	4 点
概ねできている	2 点	概ね連携	2 点	概ね良好	3 点
あまりできていない	1 点	あまり連携していない	1 点	やや不良	2 点
		連携が不要な事業	—	不良	1 点

2 事業評価結果達成状況の一覧

	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証
1 『地域』における子育て支援の推進			
(1) 子育て交流・地域コミュニティづくり	71.4%	73.3%	78.6%
(2) 地域における子育て支援サービスや相談体制の充実	69.4%	90.9%	77.1%
(3) 児童虐待への対応	77.8%	94.4%	87.5%
2 子どもの『生きる力』の育成			
(1) 心豊かで創造性を育む教育の推進	76.5%	76.0%	82.4%
(2) 主体性を育む多様な体験・学習の場づくり	80.0%	66.7%	81.7%
3 『家庭』における子育てと社会活動の両立支援			
(1) 親子のふれあいの推進	86.7%	60.0%	85.0%
(2) 子育て世代の社会参加の支援	53.3%	46.7%	65.0%
(3) 子育て支援サービスの充実	84.4%	78.8%	86.7%
(4) ひとり親家庭への支援	75.0%	66.7%	81.3%
(5) 障がいのある児童の育成環境の充実	80.6%	84.8%	85.4%
4 妊娠・出産から生涯にわたる『健康』づくり			
(1) 安心して妊娠・出産ができるための支援	78.8%	72.2%	72.7%
(2) 乳幼児の健やかな成長支援	76.9%	75.8%	80.8%
(3) 学齢期・思春期の心と体の健康づくり	63.0%	59.3%	69.4%
5 『安心・安全』のまちづくり			
(1) 子どもの遊び場と居場所の整備	66.7%	66.7%	75.0%
(2) 安全で快適な生活環境の整備	76.2%	71.4%	75.0%
(3) 子どもを犯罪から守る対策の強化	72.7%	81.5%	81.8%

1 『地域』における子育て支援の推進

(1) 子育て交流・地域コミュニティづくり

【施策の方向性】

- ① 子育てに関する様々な不安や悩みを気軽に話せる仲間づくりの推進
- ② 声かけや子育ての協力をしあう地域コミュニティ、子育てを通じた地域交流の推進
- ③ 子育てに関する関係する機関やグループとの連携による推進

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
児童館	子育て支援課	○児童館の充実を図るため、より児童のニーズに合った、魅力的なクラブづくりを検討していく。	概ねできている	常に連携	概ね良好	継続
育児教室	健康推進課	○子育て支援センター等でも育児講座が行われており、事業内容が重複するため、平成25年度から健康推進課では育児講座としての事業は行わない。子育て支援センターや児童館等へ保健師が向き健康教育や相談・指導の充実を図る。	できている	概ね連携	良好	継続
小学校～家庭教育推進事業～	生涯学習課	○事業継続中	できている	概ね連携	概ね良好	継続
保育園・幼稚園～未就園児・保護者との交流～	子育て支援課 学校教育課	○子どもと保護者が訪れやすい居場所となるよう、相談一情報提供一助言等、子育て支援を円滑に利用できる様に検討する。(子育て支援課) ○平成28年度第2幼稚園の保育園の保育園化に伴い、通学区域の変更が平成26年度よりされるため、第1幼稚園でのきりんサークル希望者が増加する見込みではあるが、きりんサークルの実施には指導をする教員・教室が必要となるため、今以上の定員の受入れは、難しい。(学校教育課)	概ねできている (子育て支援課) 概ねできている (学校教育課)	連携が不要な事業 (子育て支援課) 連携が不要な事業 (学校教育課)	やや不良 (子育て支援課) 良好 (学校教育課)	継続 (子育て支援課) 継続 (学校教育課)
ふたごの会	健康推進課	○平成24年度までは場所が清洲保健センターのみであり、清洲保健センターまでの移動手段が無い方は参加が出来ないという問題があった。平成25年度からは各保健センターを巡回する乳幼児健康相談と同日実施をすることとし、市全域から参加していただけるよう改善した。また、乳幼児健康相談と同日実施することにより希望者には計測ができ、保健師以外に管理栄養士もおり専門的なアドバイスを提供できると考えられる。また、平成25年度から未熟児養育事務が市町村に移譲されたため、早期に対象者の把握ができることとなり、利用者の増加が見込まれる。 いずれは、自主グループ化も視野に入れていきたい。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
住民との連携による子育てサークル活動	生涯学習課	—	—	—	—	—
子育てネット会議	子育て支援課	○それぞれの関連チームでの活動報告に終わっているようで、少し関係機関のかかわり交流が生まれる方向への検討が必要である。	あまりできていない	概ね連携	概ね良好	継続

(2) 地域における子育て支援サービスや相談体制の充実

【施策の方向性】

- ①誰もでもわかりやすい子育てに関する情報の周知と提供体制の充実
- ②きめ細やかにかいつでも気軽に相談できる体制づくり
- ③地域との連携による子育て支援サービスの充実

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
子育て支援センター	子育て支援課	○春日地区2か所で行っている常設型子育て支援センター、ひろば型子育て支援センターのうち、ひろば型子育て支援センターを25年度末をもって廃止する。 唯一、西枇杷島地区に子育て支援センターがないため、設置に向け検討している。 また、魅力ある事業を展開し、利用者の増加を図る。	できている	常に連携	概ね良好	見直し(拡大)
ファミリー・サポート・センター	子育て支援課	○ファミリー・サポート・センターは女性の社会進出によりニーズが増えている。しかし、依頼会員の数に比べ、提供会員、両会員の数が少なく、一人の提供会員が1日に複数活動するケースも多い。今後は提供会員、両会員を充実させるため、ポスター、チラシなどで積極的に啓発を行っていく必要がある。また、多様な依頼ケースも増加しており、アドバイザー、提供会員の負担が増加している。 また、NPO法人への委託、複数市での合同実施への移行も検討する。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
家庭相談員の配置・各種相談機関との連携	子育て支援課	○普段から健康推進課などの部局間の連携、児童相談センターとの情報共有などを積極的にを行い、虐待の防止、早期発見を図る。また、年々増加する家庭相談、児童虐待に対し、十分対応できるだけの家庭相談員としての必要な知識向上を図る。	概ねできている	常に連携	良好	継続
子育て情報の発信	子育て支援課	○今後も、市のホームページなどで積極的に広報啓発するとともに、魅力ある講座、事業を展開し、利用者の増加を図る。	概ねできている	常に連携	概ね良好	見直し(拡大)
子育てマップの作成	子育て支援課	○なし	あまりできていない	—	不良	—
ボランティア・NPOなどの社会活動の支援	社会福祉課 子育て支援課 企画政策課	○子育てに対するニーズが、多様化しているため、今後も継続して支援していく必要がある。(社会福祉課) ○子育てに対するニーズが、多様化しているため、子育てに対する不安や負担を抱え込むことなく、ゆとりをもって子育てできるように今後も継続して支援していく必要がある。(子育て支援課) ○清須アダプト・プログラムに協力する団体を今後も募集し、市民協働による公共施設(公共空間)の美化活動を支援していく。 また、増え続ける行政需要に対応する新たな公共の担い手としてNPOやボランティアの活動支援に努め、市民協働の取組みを推進する。(企画政策課)	概ねできている(社会福祉課)できている(子育て支援課) あまりできていない(企画政策課)	常に連携(社会福祉課)常に連携(子育て支援課)概ね連携(企画政策課)	良好(社会福祉課)概ね良好(子育て支援課)やや不良(企画政策課)	継続(社会福祉課)継続(子育て支援課)見直し(拡大)(企画政策課)

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
親育て事業	子育て支援課 学校教育課 生涯学習課 社会福祉課	<p>○広報、ホームページに詳しいスケジュールを掲載するとともに、対象者が参加したいと思うような講座を企画する。また、既存の参加者に対して、友人、近所の方にも一緒に講座に参加するよう呼びかけていただく。(子育て支援課)</p> <p>○いじめや不登校の悩みを抱える児童生徒やその保護者に対して、更に気軽に相談できるように周知を図る必要がある。(学校教育課)</p> <p>○家庭教育講演会開催、特に問題なし(生涯学習課)</p> <p>○子育てに対するニーズの多様化・増加に伴って、今まで以上に関係部署・関係機関とも密に連絡をとりつつ、事業を行っていく。(社会福祉課)</p>	できている (子育て支援課)	常に連携 (子育て支援課)	概ね良好 (子育て支援課)	見直し(拡大) (子育て支援課)
			概ねできている (学校教育課)	常に連携 (学校教育課)	概ね良好 (学校教育課)	継続 (学校教育課)
			概ねできている (生涯学習課)	概ね連携 (生涯学習課)	良好 (生涯学習課)	継続 (生涯学習課)
			概ねできている (社会福祉課)	常に連携 (社会福祉課)	良好 (社会福祉課)	継続 (社会福祉課)

(3) 児童虐待への対応

【施策の方向性】

- ① 子育ての不安の解消や相談機能の充実による虐待の予防
- ② 福祉・保健・教育などの関係機関と地域の連携による早期発見・防止体制の充実

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
発生予防	健康推進課	<p>○心配や不安がある時に気軽に相談できる場所があることを周知しているが、関心が高かったり参加する意思がない方こそ、虐待の危険があると思われる。ハイルスク家庭に関しては、関係機関で情報交換を密に行い、見守り・連絡・支援等を行っていく必要がある。</p> <p>また虐待は特別なことではなく、どこの家庭にも起こり得るものとして日々の活動を行っていく。</p> <p>母子保健推進員を養成しているが、虐待の予防、早期発見・早期対応の視点等について伝え、地域での声かけや見守りを行っている。</p>	概ねできている	常に連携	概ね良好	継続
早期発見・早期対応	子育て支援課 健康推進課 学校教育課	<p>○保育園入所に配慮し、子どもの安全を守る。</p> <p>協力体制整備事業の一環として、専門研修(保育所)の実施にむけて、虐待の発見、通告の促進の協力体制を促進する。(子育て支援課)</p> <p>○乳幼児健診の未受診者については直接会えない人があるため、他課と連携し、横のつながりを強化し確認を行っている。ただし、市外の幼稚園に通園している子に関しては訪問を行い発育・発達状況の確認を実施する。</p> <p>市役所関係職員だけでなく、母子に関わる母子保健推進員にも虐待の早期発見・早期対応の視点等について伝え、地域での見守りを強化していく。(健康推進課)</p>	できている (子育て支援課) 概ねできている (健康推進課)	常に連携 (子育て支援課) 常に連携 (健康推進課)	良好 (子育て支援課) 概ね良好 (健康推進課)	継続 (子育て支援課) 継続 (健康推進課)
要保護児童対策地域協議会	子育て支援課	○虐待の防止、早期発見のため、関係機関の連携強化をより一層図っていく。	できている	概ね連携 (学校教育課)	概ね良好 (学校教育課)	継続
地域のサポート支援の啓発	社会福祉課	○子育てに対するニーズの多様化・増加に伴って、今まで以上に関係部署・関係機関とも密に連絡をとりつつ、事業を行っていく。	概ねできている	常に連携	良好	継続

2子どもの『生きる力』の育成

(1) 心豊かで創造性を育む教育の推進

【施策の方向性】

- ①道徳教育やスポーツ活動を通じた豊かな心と健康な体の育成
- ②学校と地域社会の連携による開かれた特色ある学校づくり
- ③個々の特性にあわせた「生きる力」を育成するための知・徳・体のバランスのとれた教育の推進
- ④いじめや不登校・問題行動等への対応

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
義務教育施設の設備	学校教育課	○今後は予算の効率化に向けてシンククライアント導入の検討や、授業に活用しやすいタブレットPCの導入の検討などが課題となる。	できている	連携が不要な事業	良好	継続
図書環境及び美術環境	生涯学習課	○平成24年度より指定管理者制度を導入しており、指定管理者との連絡を密にして利用者の声をより多く聞くよう努め、利用者に対する要望等への対応、市民ニーズに充分対応するよう指導する必要がある。	概ねできている	概ね連携	良好	継続
特色ある学校づくりの推進	学校教育課	○最小の経費で最大の効果が出せるような創意工夫が必要である。	できている	概ね連携	良好	継続
道徳教育	学校教育課	○地域の行事への参加率が低下しており、地域とのつながりを実感できる取組を、各小中学校でも行う必要がある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
福祉教育	学校教育課	○各小中学校において福祉実践教室を行う。総合的な学習の時間に福祉をテーマに学習を進める。中学校では、福祉体験として、福祉施設に出かけ実習を行う。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
職場体験学習	学校教育課	○事業所へ協力要請の上、生徒の受入先を確保するが、受入先確保が困難なケースが散見される。市内事業所の理解と協力が必要がある。また、県の交付金によって事業費用を賄っているため、交付金の確保が課題である。	できている	概ね連携	良好	継続
乳幼児とのふれあい体験	学校教育課 子育て支援課	○幼稚園・保育園との打ち合わせ時間等の確保。(学校教育課) ○特になし(子育て支援課)	できている (学校教育課) できている (子育て支援課)	常に連携 (学校教育課) 常に連携 (子育て支援課)	良好(学校教育課) 良好 (子育て支援課)	継続(学校教育課) 継続 (子育て支援課)
地域におけるスポーツ活動の推進	スポーツ課	○子ども会球技大会においては、まだ各地区の取り組みに温度差があり、競技や勝負にこだわらぬ地区と、球技を楽しむことを主目的とする地区がある。大会の趣旨をよく理解することで、温度差を減少させたい。 体育祭はスポーツ推進員を中心としたメンバーによる競技種目の選定が課題。多くの人たちが楽しく積極的に参加できる体育祭を目指したい。	できている	常に連携	概ね良好	継続
少人数学習指導 講師の派遣	学校教育課	○今後も引き続き講師を配置し、児童生徒が苦手としやすい教科や単元を中心に指導することで学習する意欲を高め、学力の向上を図る。	できている	連携が不要な事業	良好	継続
教職員の研修	学校教育課	○研修時間の確保	できている	あまり連携していない	概ね良好	継続

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
地域の資源・人材を活かした学校教育の推進	学校教育課	○学習時間や打ち合わせをする時間の確保が難しい。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
学校評議員制度	学校教育課	○地域の意見が学校運営に一層反映できるような方法の検討や市教委として他課と連携する方法の構築。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
学校公開日	学校教育課	○不審者に対する対応	できている	あまり連携していない	良好	継続
保育園・幼稚園と小学校及び中学校と中学校間の連携	学校教育課 子育て支援課	○幼稚園・保育園と小学校の間での直接のやりとりが難しいことから、事務局を介して連絡している。いかにお互いの意図をスムーズに通わせることができるかが課題。(学校教育課) ○小学校へのステップ段階の大切さを考えるに当たり、子ども達の発達が連続して促している環境づくり。情報共有や相互理解など大切と考える。職員連携を深める→職員の体験学習(子育て支援課)	概ねできている あまりできていない (子育て支援課)	概ね連携 (学校教育課) 概ね連携 (子育て支援課)	概ね良好 (学校教育課) やや不良 (子育て支援課)	見直し(拡大) (学校教育課) 見直し(縮小) (子育て支援課)
幼稚園と保育園の連携	学校教育課 子育て支援課	○平成26年度通園区域の見直しを図ることに伴い、指定園が撤廃されるため西枇杷島第1幼稚園へ通園希望者が増加する見込みのため、人的措置等も必要になる。(学校教育課) ○(幼稚園の保育園化後)平成27年度末に西枇杷島第2幼稚園を廃園することに伴い、西枇杷島第2幼稚園へ入園をした園児が、廃園後、西枇杷島第1幼稚園へ転園希望をした場合、現状の建物では、クラス数を増やすことが困難。(子育て支援課)	概ねできている あまりできていない (子育て支援課)	概ね連携 (学校教育課) 常に連携 (子育て支援課)	概ね良好 (学校教育課) 概ね良好 (子育て支援課)	継続 (学校教育課) 継続 (子育て支援課)
幼稚園と保育園の連携	学校教育課 子育て支援課	○平成26年度通園区域の見直しを図ることに伴い、指定園が撤廃されるため西枇杷島第1幼稚園へ通園希望者が増加する見込みのため、現状の建物では対応できない。また、人的措置も必要になる。(学校教育課) ○西枇杷島第2幼稚園を廃園することに伴い、第2幼稚園へ入園をした園児が、廃園後、西枇杷島第1幼稚園へ転園希望をした場合、現状の建物では、クラス数を増やすことが不可能であるため、受入れすることができない。(学校教育課) ○平成26年度通園区域の見直しを図ることに伴い、指定園が撤廃されるため西枇杷島第1幼稚園へ通園希望者が増加する見込み。 (子育て支援課) ○平成27年度末に西枇杷島第2幼稚園を廃園することに伴い、西枇杷島第2幼稚園へ入園をした園児が、廃園後、西枇杷島第1幼稚園へ転園希望をした場合、現状の建物では、現在の建物では、クラス数を増やすことが不可能であるため、受入れすることが困難。(子育て支援課)	あまりできていない (学校教育課) あまりできていない (学校教育課) あまりできていない (子育て支援課) あまりできていない (子育て支援課)	概ね連携 (学校教育課) 常に連携 (学校教育課) 概ね連携 (子育て支援課) 常に連携 (子育て支援課)	概ね良好 (学校教育課) 概ね良好 (学校教育課) 概ね良好 (子育て支援課) 概ね良好 (子育て支援課)	継続 (学校教育課) 継続 (学校教育課) 継続 (子育て支援課) 継続 (子育て支援課)
スクールカウンセラー派遣事業	学校教育課	○学校や家庭で心の悩みを抱える児童生徒の相談件数が増加しており、相談に充てられる時間の確保が不足しがちとなる。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
教育相談	学校教育課	○学級の児童生徒全員と教育相談をするための時間を確保する必要がある。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
適応指導教室	学校教育課	○適応指導教室の場所が、清須市の南東に位置するため、春日地区などからは通学が困難な場所になる。また、公共交通機関を利用するにしても、最寄駅「新川橋」からも少し距離があり、毎日通学することが難しい。	概ねできている	常に連携	概ね良好	継続

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
就学援助	学校教育課 社会福祉課	<p>○平成25年8月の生活保護基準見直しによる、要保護から準要保護に切り替わる児童生徒の増加 準要保護審査も生活保護基準を基にしているため、要保護から外れることも考えられる（今のところ現要保護受給者が外れることはない。）（学校教育課）</p> <p>○生活保護受給者が微増ながら増加傾向にあり、0～18歳のいる世帯に対して必要な保護を行う。（社会福祉課）</p>	概ねできている （学校教育課） できている （社会福祉課）	常に連携 （学校教育課） 常に連携 （社会福祉課）	概ね良好 （学校教育課） 良好 （社会福祉課）	継続 （学校教育課） 継続 （社会福祉課）

(2) 主体性を育む多様な体験・学習の場づくり

【施策の方向性】

- ①児童生徒の自らの能力や主体性を生かし、社会参加できる環境づくり
- ②多様な体験活動を通じて次代の親の育成
- ③ふれあいを通じて、地域の次代を担う意識づくり

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
子どもが担い手となる地域活動	学校教育課 生活環境課 子育て支援課	○安全面の配慮や地域との連携。(学校教育課) ○市内学校の一部にしか協力依頼しておらず、また、学校行事等のため参加することができない時があるため、学校の実情に応じた事業を展開する。(生活環境課) ○日程調整等が検討されたいところである。(子育て支援課)	概ねできている(学校教育課) あまりできていない(生活環境課)	概ね連携(学校教育課) 概ね連携(生活環境課)	概ね良好(学校教育課) やや不良(生活環境課)	継続(学校教育課) 継続(生活環境課)
児童館や地域における各種クラブ活動	子育て支援課	○児童館の充実を図るため、より児童のニーズに合った、魅力的なクラブづくりやクラブ数などについても検討していく必要がある。	概ねできている(子育て支援課)	概ね連携(子育て支援課)	概ね良好(子育て支援課)	継続(子育て支援課)
土曜日を活用した体験教室	生涯学習課 スポーツ課	○ボランティアで指導していただける新規教室の開拓。(生涯学習課) ○サタデーキッズクラブは体験型のプログラムであるので種目の選定にも工夫が必要である。 また、学校週5日制も定着し、子どもたちの生活パターンも習い事等で多忙になっている傾向があるので、この事業の必要性についても再考の必要がある。(スポーツ課)	できている(生涯学習課) できている(スポーツ課)	常に連携(生涯学習課) 常に連携(スポーツ課)	良好(生涯学習課) 良好(スポーツ課)	継続(生涯学習課) 継続(スポーツ課)
地域における異年齢間、世代間交流	産業課 生涯学習課 企画政策課	○時代の流れに伴い、一部のまつりで、見直しの要望が出ており、市民の期待、コストパフォーマンスの面を捉えて、今後のまつりをどのようにしていくのか、再検討の余地がある。(産業課) ○清洲城広場で実施している盆踊りで、幼児から高齢者まで多くの方に参加でき、地域の絆を深める盆踊りを清洲城広場で実施する。 親子のふれあいや地域の絆を深めることができる生涯学習講座を実施する。(生涯学習課) ○清須ウォークでは、参加者に対して清洲城や清洲貝殻山貝塚資料館、みずとびあ庄内など清須市の歴史や自然の魅力を知ってもらうコース選定を行った。幼児から高齢者まで、世代に関係なく多くの方々に参加してもらえよう、新聞掲載、広報紙やホームページを利用したPR活動を実施していく。(企画政策課)	できている(産業課) 概ねできている(生涯学習課) できている(企画政策課)	概ね連携(産業課) 概ね連携(生涯学習課) 概ね連携(企画政策課)	概ね良好(産業課) 概ね良好(生涯学習課) 良好(企画政策課)	継続(産業課) 継続(生涯学習課) 継続(企画政策課)

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
歴史とのふれあい	生涯学習課	○朝日遺跡出土品等の貴重な文化財を見学等できよう、愛知県教育委員会等と連携を図っていく。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
芸術・文化とのふれあい	生涯学習課	○予算と相談しないといけないが、事業内容の選定が難しい。	概ねできている	あまり連携していない	概ね良好	継続
自然とのふれあい体験	学校教育課 生涯学習課	○除草、清掃、水質管理など、ピオトープの維持管理。(学校教育課) ○親子で参加する講座で、昆虫採集を実施し、自然環境について考える機会となるよう努める。また、事故のないよう安全に実施する。(生涯学習課)	できている (学校教育課) できている (生涯学習課)	あまり連携していない (学校教育課) あまり連携していない (生涯学習課)	概ね良好 (学校教育課) 良好 (生涯学習課)	継続 (学校教育課) 継続 (生涯学習課)
国際交流	生涯学習課	○講座、国際理解授業については、開催回数に対し内容が見合ったものになっているかの見直しを行う。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
放課後子ども教室	学校教育課	○年々登録・参加者が増加しており、活動スペースに限界があるため、参加者が多数に及ぶと安全面の管理が難しい。また、登録しながら参加しない者への対応や定員の設定が必要かどうかなどの課題がある。	できている	常に連携	良好	継続

3 『家庭』における子育てと社会活動の両立支援 (1) 親子のふれあいの推進

【施策の方向性】

- ① ゆとりとやさしさをもった親子のふれあいの推進
- ② 仕事優先のライフスタイルの見直しや男性の家事・育児参加の推進
- ③ 子育ての最も基本の場である家庭における子育て力・教育力の向上

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
父親の育児参加	健康推進課 子育て支援課 学校教育課	○父親の育児参加の意識の高まりからか、土曜日のパパママ教室には9割以上が夫婦での参加となっている。内容に関しても、父親の反応は良好である。今後も継続の予定である。 また、出生の届出や出生連絡票提出を父親がすることも多く、窓口で相談・支援を行うこともある。あらゆる機会をとらえ父親の育児参加の啓発を今後もしていく。(健康推進課) ○父親参加も呼びかける一方、父親のいない家庭にも配慮する必要がある。(子育て支援課) ○父親同士の十分な交流活動にまでは至っていない。(学校教育課)	できていない (健康推進課)	概ね連携 (健康推進課)	概ね良好 (健康推進課)	見直し(拡大) (健康推進課)
親子ふれあい広場事業	生涯学習課	○この委託事業も、8年目に入り参加人数が減少傾向にあるため、どのように周知していくかが課題。	概ねできている (子育て支援課) できている (学校教育課)	概ね連携 (子育て支援課) あまり連携していない (学校教育課)	概ね良好 (子育て支援課) 概ね良好 (学校教育課)	見直し(拡大) (子育て支援課) 継続 (学校教育課)
「家庭の日」啓発事業	生涯学習課	○特になし	概ねできている	概ね連携	良好	継続

(2) 子育て世代の社会参加の支援

【施策の方向性】

- ①仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の実現に向けた就労や社会参加と子育ての両立支援
- ②男女共同参画の社会づくりの推進

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
子育て世代を対象とした生涯学習講座	生涯学習課	○事業の周知方法が、4月に配布する生涯学習ガイドと、広報及びホームページのみであることから、子育て世代に周知できているかが不透明なため、周知方法について検討が必要であると考え。 ニーズに応じた講座や、地域の特性を生かした新規講座の開拓。	あまりできていない	あまり連携していない	概ね良好	継続
男女共同参画社会推進のための啓発	生涯学習課	○将来の親となる児童生徒に対しての男女共同参画社会の大切さを伝えていく。 平成25年度は、清須市男女共同参画プランの見直しをすることで、市民の意見のアンケートにより確認しプランに反映した。	概ねできている	あまり連携していない	概ね良好	継続
雇用者への啓発	産業課	○昨今のマスコミ報道や国の政策においても被雇用者としての女性の問題意識向上は図られていると思うが、本来のような中小の企業が多い地域では、雇用者側の意識付けが課題となっている。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
ファミリーフレンドリー企業	子育て支援課	○平成15年に制定された「次世代育成支援対策推進法（平成26年度までの時限立法：延長するかは検討）」では、次の世代を担う子どもたちが健やかに生まれ育つ環境を作るため、国、地方公共団体、企業、国民が一体となって対策を進めるとしている。この法律に基づき、一定規模以上の一般事業主及び特定事業主に行動（支援）計画の策定を義務付けている。 平成24年に制定された「子ども・子育て関連3法」では、「次世代育成支援行動計画」の内容に加え「子ども・子育て支援事業計画」を包含した内容を盛り込むことになる。	あまりできていない	あまり連携していない	不良	その他
はぐみんカード	子育て支援課	○平成25年1月の子育て家庭優待事業調査事業によるとはぐみんカードを利用する側において、所持しているが利用していない人の割合が多く、その理由として協賛店舗や特典内容が分からないと答える人が多い。また、協賛店舗側にとっても、制度そのものが子育て家庭に認知されていないように感じる、といった意見が「はぐみんカード」事業における課題として挙げられており、子育て家庭への周知を広める必要がある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し（拡大）

(3) 子育て支援サービスの充実

【施策の方向性】

- ①多世代交流、自然体験など、人や自然とふれあう保育環境の充実
- ②多様な保育サービスと保育園・幼稚園の特色づくり
- ③放課後児童クラブの受け入れ体制の充実

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
地域に開かれた施設づくり	子育て支援課	○保育園らしい支援が出来るように(入所支援・地域支援・保護者支援)子育てのパートナーになれるように親に子育てに自身を持っていける保育園支援を検討する ○本来は、全保育園、全小学校、全中学校で実施するのが理想であるが、予算、体制の関係で持ち回りとなる。そのため、当たった保育園、小、中学校はそれ以外は、できない。(産業課) ○特になし(学校教育課)	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
食育の推進	産業課 学校教育課 子育て支援課 健康推進課	○新保育所保育指針に新たに項目に上げられた「食育」子どもの生命を保持し、健全な心身の発達を図ることで当たり前のことが当たり前でなくなつたゆえに、保育内容の中で、適切に位置づけていくことが必要で、取り組み等で具体的な活動の企画立案が必要と考える。 総合給食センターになった折の栄養指導、アレルギー対応について検討が必要である。(子育て支援課) ○保護者の「食」に対する関心や姿勢に差があり、それに合わせて個別に指導が必要である。家庭での食事はその保護者、特に母親の幼少期からの食習慣が大きく影響する。今後も継続的に年齢に応じた教育が必要である。 また、食生活改善推進員による地域食育の推進のために支援していく必要がある。(健康推進課)	できていない (産業課) 概ねできている (学校教育課) 概ねできている (子育て支援課)	常に連携 (産業課) 概ね連携 (学校教育課) 概ね連携 (子育て支援課)	概ね良好 (産業課) 良好 (学校教育課) 良好 (子育て支援課)	継続 (産業課) 継続 (学校教育課) 継続 (子育て支援課)
待機児童ゼロ作戦	子育て支援課	○平成25年度 西枇杷島保育園の改修工事をおこない、給食センター方式に切り替え、定員の増加を図る。 平成26年度 ネギヤ保育園増築工事(夢の森保育園統廃合のため) 平成27年度 夢の森保育園は廃園(平成26年度末) 保育園新設(西枇杷島地区の保育ニーズに対応 平成28年度開園) 西枇杷島第2幼稚園は廃園(平成27年度末)	できている	連携が不要な事業	良好	継続
多様な保育サービス	子育て支援課	○病後児保育は、須ヶ口保育園の一ヶ所だったところ花水木保育園の新築替えの際、二ヶ所となった。 一時的保育は、現在、西枇杷島保育園、本町保育園、桃栄保育園、夢の森保育園の四か所所で受け入れられているが、今後、利用者ニーズと保育所の施設状況等の調整を図りながら充実・拡大を検討する。	できている	連携が不要な事業	概ね良好	見直し(拡大)

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
幼稚園における預かり保育	学校教育課	○預かり保育の利用者が年々増大しており、更に平成27年度末を以って第2幼稚園が廃園されるため、第1幼稚園通園者が増大する見込み。それに伴い、預かり保育利用者も増大する見込みのため、人的措置が必要となる。	できている	連携が不要な事業	概ね良好	見直し(縮小)
保育園などの施設の整備	子育て支援課	○平成26年度 ネギヤ保育園 増築工事(夢の森保育園統廃合のため) 夢の森保育園は廃園(平成26年度末) 平成27年度 保育園新設(西枇杷島地区の保育ニーズ)に対応 平成28年度開園) 西枇杷島第2幼稚園は廃園(平成27年度末)	できている	常に連携	良好	継続
放課後児童クラブ	子育て支援課	○放課後児童クラブは、女性の社会進出によりニーズが増えて来ており、今後さらには「放課後子ども教室」との連携が必要である。また、児童福祉法の改正により対象児童が小学生高学年まで拡充されたことに対する対応も検討する必要がある。また、西枇杷島地区の放課後児童クラブが小学校から遠いため適正配置についても検討する。 平成25年度に設置した「子ども・子育て審議会」では、子育て支援策として放課後児童クラブの充実を検討することになる。事業計画策定のアンケート調査を実施するため、アンケート結果を踏まえて、地域の実情に応じた事業を展開する。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
子育てに対する経済的な支援	子育て支援課 学校教育課 社会福祉課	○低所得者に配慮した保育料の設定は、今後も継続予定。(子育て支援課) ○私立幼稚園就園奨励費補助金事業は、国の制度に基づいて実施しており継続予定であるが、私立高等学校等授業料補助金事業についても継続予定。(学校教育課) ○生活保護受給者が微増ながら増加傾向にあり、0～18歳のいる世帯に対して必要な保護を行う。(社会福祉課)	できている (子育て支援課) できている (学校教育課) できている (社会福祉課)	常に連携 (子育て支援課) 連携が不要な事業 (学校教育課) 常に連携 (社会福祉課)	良好 (子育て支援課) 良好 (学校教育課) 良好 (社会福祉課)	継続 (子育て支援課) 継続・見直し(縮小) (学校教育課) 継続 (社会福祉課)
幼稚園・保育園の統廃合・認定こども園化	子育て支援課	○平成27年4月1日 夢の森保育園を廃園し、ネギヤ保育園へ統合。 平成28年4月1日 西枇杷島第2幼稚園を廃園し、西枇杷島温水プール跡地に西枇杷島地区に保育園を新設。 数多くの老朽化施設があるため、一度に対応できないため、どのように優先順位をつけて対応するかが課題。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
保育士の研修	子育て支援課	○全体職員に研修内容を周知法として、園内伝達に重点を置いて計画しているが周知の浸透具合が把握できていないので、調査を実施する。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続

(4) ひとり親家庭への支援

【施策の方向性】

- ①ひとり親家庭の自立と生活の安定のために、就労や子育てに関する相談体制の充実
- ②児童扶養手当などによる経済的な支援の充実

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
母子家庭等日常生活支援事業	子育て支援課	○受給者の多くは、精神障害があるため、長期に渡り生活援助が必要となる。現在、派遣対象家庭の登録者数が減っているため、母子手当現況届出時において、相談等があった場合、積極的に事業について説明する。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
就業相談員・母子自立支援員による相談	子育て支援課	○離婚当時の母子・父子家庭は色々な面で不安定であることから、母子自立支援員による相談は大きな拠り所となっている。社会情勢が厳しい中で母子家庭の母等の就労が難しくなっているため、今後は自立支援プログラム策定を行い、公共職業安定所等と積極的に連携しながら、就労・自立に向けてきめ細かい支援を行っていく。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
ひとり親家庭等に対する経済的な支援	子育て支援課	○支給額が他市より高めであること、また18歳未満まで継続して支給している現行制度を、県遺児手当を参考にし、支給額及び支給期間の短縮などを検討する。ただし、その時点での社会情勢及び雇用状況などを考慮し検討する。	できている	連携が不要な事業	概ね良好	見直し（縮小）
母子寡婦福祉協議会等の各種団体に対する支援	子育て支援課	—	—	—	—	—
母子生活支援施設への入所	子育て支援課	○国基準どおり施設入所児童数などに処遇向上のために使用されており、効率的に支弁しており、今後も国基準どおり措置費として支弁していく。	概ねできている	概ね連携	良好	継続

(5) 障がいのある児童の育成環境の充実

【施策の方向性】

- ①障がいのある子どもの生活支援の充実
- ②障がいのある子どもの療育・保育・教育環境の充実
- ③子育てに関係する機関との連携による障害児の育成と親支援を推進

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
障害福祉計画の推進	社会福祉課	○障害福祉サービスへのニーズは増大しており、今後もサービス量など増加が見込まれ、よって予算も増大することが予想される。 ○障害児と保護者に対する継続的な各種相談・保健指導を行っていくため、保健師など関係機関への情報提供などをさらに行っていく。(子育て支援課) ○障害福祉サービス利用のニーズが増えたり、それに伴い相談件数も増えているので、相談支援員の充実が求められるようになり、(社会福祉課) ○発達障害など一般的に知られるようになり、言語、精神、社会的側面で児の発達が不安をもつ保護者がいる。また母子関係の中で遊びの経験不足から発達が阻害されている側面もあるため、相談件数が伸びている。また、保育園等就園してから気になる保護者もあり、児の集団生活における行動面についての相談もある。(健康推進課)	できている	常に連携	概ね良好	継続
母子通園施設	子育て支援課	○たんぼほ園は、現在、市の単独事業として運用している。今後施設を継続して運営していくためには、財源の確保が必要となる。 そこで、財源を確保するため、児童福祉法に基づく愛知県指定の児童発達支援事業所としての運用を検討する。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
特別支援教育	学校教育課	○特別支援教室への就学については、保護者の理解が不可欠であり、十分な懇談・協議が必要。	できている	常に連携	良好	継続
特別児童扶養手当・障害児(児)医療費助成事業等による経済的な支援	子育て支援課 保険年金課 社会福祉課	○国の事業であるが、受給対象者への制度の周知を徹底するとともに、詳細についての広報等啓発に努める。(子育て支援課) ○微増ではあるが、増加する支給費の財源確保。(保険年金課) ○市の単独事業である障害者福祉金については、手帳取得者の増加により、支給額が伸びている。 今後も持続可能な事業としていくため、金額の改定などを考えていく時期に来ている。(社会福祉課)	概ねできている (子育て支援課) できている (保険年金課) できている (社会福祉課)	常に連携 (子育て支援課) 常に連携 (保険年金課) 概ね連携 (社会福祉課)	概ね良好 (子育て支援課) 良好 (保険年金課) 概ね良好 (社会福祉課)	継続 (子育て支援課) 継続 (保険年金課) 継続 (社会福祉課)
障害者(児)タクシー利用料等補助事業	社会福祉課	○ガソリン購入費助成については、給油量(最大40リットル)に対し20%まで)に対し助成を行うため、昨今のガソリン単価の高騰により支給金額が伸びている。今後も持続可能な事業としていくため、事業を見直す時期にきている。	できている	連携が不要な事業	概ね良好	継続

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
療育ネットワーク会議	子育て支援課	○療育ネットワーク会議構成員と療育サポート会議構成員の職域がほとんど同じであるため、組織の再編成の検討が必要。	概ねできている	常に連携	良好	見直し（拡大）
障害者自立支援法による福祉サービス	社会福祉課	○自閉症など手帳取得できない障害児が増えており、またその利用ニーズも増大している。	概ねできている	概ね連携	良好	継続

4 妊娠・出産から生涯にわたる『健康』づくり (1) 安心して妊娠・出産ができるための支援

【施策の方向性】

- ① 妊娠・周産期の健康づくりの推進
- ② 配偶者や家族のあたたかい支援の中で妊娠・周産期を過ごせるよう啓発の推進

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
母子健康手帳の交付	健康推進課	○出産時の母の平均年齢が30.3歳(全国)を超え、晩婚化の傾向が続いているため、年齢が今後とも高くなることが予想される。高齢出産になると低出生体重児の出生も増える恐れもある。若年妊娠者も含め妊娠期を安定して過ごすことができるような支援をしていく。	できている	常に連携	概ね良好	継続
母子健康管理指導事項連絡カード	健康推進課	○主治医が必要と認めた場合において連絡カードに記載し、妊婦自身が雇用者に提出するため、利用状況等は市では把握ができなない。新生児訪問時等、母子健康手帳で母親の就業履歴を尋ねる際に、利用状況を確認していく必要がある。	概ねできている	連携が不要な事業	不良	継続
妊婦健康相談	健康推進課	○妊娠届出の相談やアンケートより、妊娠・出産にかかわる費用や保育等についての相談も多くなっており、子育て支援課や社会福祉課とのますますの連携も必要になってくる。また、妊娠届からの継続した育児支援をしていく必要がある。	できている	概ね連携	良好	継続
マタニティイーストクラブ配布事業	健康推進課	○マタニティマークは公共交通機関などにおいても啓発されており、マークをつけることで一定の配慮は受けられるであろうと考えられる。	できている	連携が不要な事業	良好	継続
妊婦委託健診	健康推進課	○妊婦の経済的負担を軽減し、安心して出産できる環境を整えることにより、少子化対策の一助となる。市内に産婦人科がないので分娩ができる医療機関の紹介等、妊婦の不安解消に対応していく。早期から妊娠中の健診が受けられるようにしていく。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
妊婦歯科健診	健康推進課	○妊娠中から歯に対する意識を持ち、う蝕予防のために、歯科健診受診率向上をめざす。妊娠中から歯の健康の意識づけを行う。	概ねできている	連携が不要な事業	概ね良好	継続
妊婦訪問指導	健康推進課	○就労している妊婦や医療機関にて定期的に健診をうけているため訪問の希望は少ない。ただしパパママ教室の状況把握する場合もある。また、訪問に至らないまでも電話や来所等の際に状況確認はしている。また、ケースによっては医療機関と必要に応じて連携を図っている。	概ねできている	概ね連携	やや不良	継続
パパママ教室	健康推進課	○育児不安や育児の方法が分からない母親が増えている中、参加者を増やしていく必要がある。そのためには、これから出産・育児をしていく世代が抱える不安やニーズを感じ取り、魅力ある教室を開催していく必要がある。また、父親も育児に参加・協力することで母親の負担が軽減できるので、父親の参加も促していく必要がある。	できている	連携が不要な事業	概ね良好	継続

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
栄養相談	健康推進課	○妊娠中から乳幼児期における管理栄養士の健康教育、健康相談を今後も継続して実施していく。 ○現行の制度での対象者は、母親が産後に体調不良等と限られている。しかし、実際は、産後に里帰り出産しない、身内に援助してもらえない人などが多いのが現状である。現在、補助金制度がなく、ヘルパー派遣を求めているため、補助金制度を注視しつつ、対象範囲の見直しを含め、より活用しやすい制度にしていくための方策を考えていく必要がある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
産後ヘルパー事業	子育て支援課	○晩婚・晩産化しており、今後も不妊治療の件数は増えることが予想される。昨年より県の補助金は人工授精のみと削減されたが、削減分の内容については市では引き続き補助を行っている。	あまりできていない	概ね連携	概ね良好	継続
不妊対策	健康推進課		概ねできている	連携が不要な事業	概ね良好	継続

(2) 乳幼児の健やかな成長支援

【施策の方向性】

- ①乳幼児の疾病予防・健康づくり、健康相談体制の充実
- ②保健・福祉・学校との連携による学齢期・思春期の健康づくりの推進
- ③かかりつけ医をもつことの普及・啓発

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
乳幼児訪問指導	健康推進課	○新生児及び乳児訪問は出生連絡票を提出した方に対する訪問になるため、提出がない場合は訪問に至らない。(ただし、低出生体重児、未熟児、要フォロー一児は除く)	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
母乳相談	健康推進課	○毎月の母乳相談はタイムリーではないため、早期の相談を望む場合は利用しづらい。最近では母乳外来を設けている産科があることや、市においても希望者には助産師による新生児及び乳児訪問を実施していることもあるため、母乳相談の必要性を検討する時期にきていると思われる。また、次の出産に向けての準備として正しい知識で母子共に満足のいく卒乳ができるよう啓発していく。	できている	概ね連携	概ね良好	継続
乳幼児健康相談	健康推進課	○平成25年度より心理の相談を導入した。今後は健診などで気になった児を積極的に誘い、健診の後フォローの場として活用していきたい。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
乳幼児健康診査	健康推進課	○3歳児健診では就労している保護者もおり、未受診者に受診勧奨等しても受診しない保護者がいる。ただし、未受診の場合は虐待予防の観点もあるため、幼稚園や保育園との連携もすすめながら全数把握に努めている。	できている	常に連携	概ね良好	継続
離乳食講習会	健康推進課	○参加人数は目標に達成できている。今後は、必要な方(第1子)が離乳食講習会を受講できるように啓発していく。	概ねできている	連携が不要な事業	良好	継続
育児講座・育児教室	健康推進課	○児童館や支援センターなどで乳幼児向けの講座を行っているため、平成24年度で育児講座は終了。今後は、保健師の視点から発達などについて講座を児童館や支援センターと共催していく必要あり。	概ねできている	連携が不要な事業	良好	廃止(完了)
歯科教室	健康推進課	○法定で定まっている1歳6か月・3歳児健診以外の歯科健診は、母親の仕事復帰の時期とも重なることと、歯科医院にて定期健診を行っているとのことで受診率が低いため、歯科意識向上のため対策を考えていく必要があると思われる。 歯がびかびか教室・歯かむかむ教室に関しては、市内の幼稚園・保育園に出張して教室を実施するためほとんどの児に対して健康教育を実施できている。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
乳児健診事後指導教室	健康推進課	○フォローの必要な親子が増加しているが、教室に参加可能な人数がある程度決まっているため、教室が必要な親子全てのフォローが難しい。今後、一層、母子通園や親子支援教室と連携し、親子が安心して育児できるよう、継続フォローのできる体制を整えていく必要があると考えられる。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
こんにちは赤ちゃん訪問事業	健康推進課	○こんにちは赤ちゃん訪問として、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭への全戸訪問を行っているが、里帰りが長かったり、訪問時不在があり、中々会えないことがある。 ○母子保健推進員の全戸家庭訪問活動には、母子推進員の資質向上が必要。地域で安心して子育てできる支援を行うために、継続実施をしていく。定例会の参加率が少ないため平成25年度から分科会を実施し、参加率の増加を見込む。また、母子保健推進員と健康推進課が連携し、子育て支援ができるようにする。また、母子保健推進員養成講座を他部署の協力の下、平成25年度に行い、新規推進員の養成も行う。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
母子保健推進員事業	健康推進課	○母子保健推進員の養成も行う。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し(拡大)
予防接種	健康推進課	○昨今、予防接種に関する法改正や定期予防接種ワクチンの種類など変更点が多く、最新情報を保護者や医療機関の周知などスピーディーな対応が必要である。また、マスコミなどで予防接種の副反応について大きく取り上げられることもあり、その影響で接種率が低下することも考えられる。接種方法や副反応等予防接種に関する正しい知識や情報の啓発が必要である。	できている	常に連携	概ね良好	継続
電話・面接相談	健康推進課	○電話や面接によって育児の不安をかかえる保護者と児が少しでも不安が解消できるように努めている。また、「育児もしもしキャッチ」「小児救急電話相談#8000」を周知することによって夜間の対応をしている。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
子ども医療費の助成	保険年金課	○微増ではあるが、増加する支給費の財源確保。	できている	常に連携	良好	継続

(3) 学齢期・思春期の心と体の健康づくり

【施策の方向性】

- ①若い世代が、健康な子どもを産み育てられるよう青少年の健康づくりの推進
- ②児童がいきいきと暮らせるよう、様々な悩み・苦しみを相談できる体制の充実
- ③関係機関の連携を強化した学童・思春期における保健対策の強化

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
学校保健教育	学校教育課	○連携が難しい家庭への対応。 ○連携が難しい家庭への対応。(学校教育課)	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
食に関する指導	学校教育課 子育て支援課	○新保育所保育指針に新たに項目に上げられた「食育」子どもの生命を保持し、健全な心身の発達を図ることで当たり前のことが当たり前でなくなつたゆえに、保育内容の中で、適切に位置づけていくことが必要で、取り組み等で具体的な活動の企画立案が必要と考える。 総合給食センターになった折の栄養指導 アレルギー対応について検討が必要である。(子育て支援課)	概ねできている (学校教育課) 概ねできている (子育て支援課)	概ね連携 (学校教育課) 概ね連携 (子育て支援課)	概ね良好 (学校教育課) 良好 (子育て支援課)	継続 (学校教育課) 継続 (子育て支援課)
体力づくり	学校教育課 健康推進課	○体育や部活動の活動にあたり、施設や備品の老朽化が目立つ。また、熱中症への対策や、プール指導など、安全面での配慮が必要である。(学校教育課) ○他部署でも同じような事業を行っているので、今後、必要に応じ他部署と検討していく必要がある。(健康推進課)	概ねできている (学校教育課) 概ねできている (健康推進課)	あまり連携していない (学校教育課) あまり連携していない (健康推進課)	概ね良好 (学校教育課) やや不良 (健康推進課)	継続 (学校教育課) 廃止(完了) (健康推進課)
健康教育	学校教育課 健康推進課	○特になし。(学校教育課) ○今後は、学校教育課と連携して、実施校を増やしていく必要がある。現在思春期等を行っているが、今後は、喫煙や飲酒対策等の教室も学校と連携をとり行っていくべき。(健康推進課)	概ねできている (学校教育課) あまりできていない (健康推進課)	概ね連携 (学校教育課) 概ね連携 (健康推進課)	概ね良好 (学校教育課) やや不良 (健康推進課)	継続 (学校教育課) 継続 (健康推進課)
思春期保健の啓発	学校教育課 健康推進課	○相談を希望する児童生徒の増加が予想され、相談の時間や場所の確保、相談体制の一層の整備が望まれる。外部機関との連携が必要になってくる。(学校教育課) ○思春期に自分自身の身体の仕組み、男女交際、命の大切さ、自分自身も命をつくり出せる身体であることの認識、STDなどについて知る機会を設けることが、望まない妊娠、悲しい思いを防ぐ、自殺を防ぐことにつながるため、広い意味での性教育が必要となる。しかしながら、保護者をはじめ周囲には性教育に関するし、消極的な考えや偏見もあることがあり、子ども達に性に関する教育が不十分な状態である。(健康推進課)	できている (学校教育課) あまりできていない (健康推進課)	概ね連携 (学校教育課) 概ね連携 (健康推進課)	概ね良好 (学校教育課) やや不良 (健康推進課)	継続 (学校教育課) 継続 (健康推進課)

5 『安心・安全』のまちづくり (1) 子どもの遊び場と居場所の整備

【施策の方向性】

- ① 親子のふれあいや、子ども同士でのびのび遊べる身近な公園や遊び場の整備
- ② 幼児から中高生までの多様な児童や若者の活動の場・居場所の確保と周知

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
公園・緑地の整備	都市計画課	○公園整備は、土地区画整理事業に伴い築造されるケースが大半なので、今後、基盤整備の進捗が公園整備のスケジュールにも大きく影響する。加えて、国費、県費など特定財源の確保も重要となる。 市民ニーズを十分踏まえ策定した清須市緑の基本計画では、市民が緑とより親しむためには、身近にある公園の質を高めていくことや市民協働による公園の地元管理の必要性が掲げられている。このため、市では現在実施している公園の地元管理を更に広げていきたいと考えているが、実現には地元自治会等の理解や協力が求められる。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
ちびっこ広場の整備	都市計画課	○少子高齢化の影響などもあり、地域によってちびっこ広場等の利用頻度や利用目的が異なっており、平成24年度には統廃合等を含めた施設の適正配置を検討した。この検討結果に基づき、今後は地元の理解・協力を求めながら統廃合等を実施していく必要がある。 ちびっこ広場等の除草・清掃では、西枇杷島地区はシルバークリアセンターが受託しており、それ以外の地区は地元が受託している。市民に親しまれる施設づくりや市民協働を促進するため、施設の地元管理化に努めていく必要がある。	概ねできている	連携が不要な事業	概ね良好	見直し（縮小）
児童関連施設の整備	子育て支援課	○小田井児童館〔にじび創造センター内〕は、建設年次が新しいものの建物劣化は進んでいる。 新川児童館、清洲児童館、そして西枇杷島児童館〔西枇杷島福祉センター内〕の3児童館は昭和54年建設であり、建設から30年が経過することから、今後、大規模な改修等についても検討する必要がある。 今後もボランティアと連携し、受入やすい環境を整えていく。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	見直し（拡大）
商店街空き店舗などを活用した「子育てサロン」の設置	子育て支援課	—	—	—	—	—

(2) 安全で快適な生活環境の整備

【施策の方向性】

- ①交通安全教育、生活道路などの整備による交通安全対策の推進
- ②公共公益施設のバリアフリー化やユニバーサルデザインを取り入れた人にやさしいまちづくりの推進
- ③防災まちづくりの推進
- ④子どもや子育て世帯にやさしい生活環境の整備

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
交通安全教育	防災行政課	○幼稚園・保育園児に対する交通安全教室は各地区において開催日数にバラつきがあり、園児に平等な機会を提供しているかという点で若干の疑問がある。 ○教育機関や保護司から登下校時の児童の安全な通学に対するニーズは高く、交通指導員が果たす役割は極めて高い。その一方で、横断歩道等の交通施設の充実実は警察の方針や予算の関係上、実現出来ないことも多い。PTA・地域パトロール隊との情報共有は今後も継続して行っていく。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
地域や関係機関との連携による交通安全対策	防災行政課	○幼稚園・保育園児に対する交通安全教室は各地区において開催日数にバラつきがあり、園児に平等な機会を提供しているかという点で若干の疑問がある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
自転車の安全対策	防災行政課	○現在、道路舗装やガードレール等の交通安全施設の老朽化が進んでおり、維持修繕費は増加傾向である。また、燃料費の高騰に伴い電気料金も増加していくと考えられる。そのため、新規の交通安全施設設置のための予算確保は厳しくなっていくと思われる。(土木課)	概ねできている(土木課)	概ね連携(土木課)	概ね良好(土木課)	継続(土木課)
交通安全施設の計画的な整備	土木課 防災行政課	○交通規制等は防災行政課の判断ではなく、警察の方針が大きく影響する。結果的に、市役所で出来ることは地面に色をつけ交通安全を促すことに留まってしまう。看板等についても設置により視界を遮るという指摘もあるため、要望に答えられないことも多い。(防災行政課)	概ねできている(防災行政課)	概ね連携(防災行政課)	概ね良好(防災行政課)	継続(防災行政課)
コミュニティバスの運行	企画政策課	○コミュニティ紙の発行や広報紙などを通じてコミュニティバスの啓発に努めてきたが、新たに導入した大型車両によって上がった認知度をコミュニティバスの利用につなげていく取り組みも必要であると考える。 また、本市には、市外からの来訪者が多い清洲城などがあることから、コミュニティバスを利用した市内周遊プランの作成や施設利用者向けのチラシ作成など、市民だけでなく市外からの来訪者も意識したコミュニティバス利用促進に向けた取り組みを行っていく。	できている	常に連携	概ね良好	継続
小中学校などの震災対策・防災まちづくり	防災行政課	○備蓄食料等賞味期限があるものについては適切に管理し、随時更新を行う必要がある。 防災資機材購入事業・防災組織活性化事業は、平成26年度までの事業のため、全てのプログラムが事業を実施できるよう積極的に支援していく。	できている	概ね連携	概ね良好	継続

(3) 子どもを犯罪から守る対策の強化

【施策の方向性】

- ①地域における見守りなどによる子どもの犯罪被害の防止
- ②子どもを取り巻く有害な環境対策などの推進

【事業の評価と課題・問題点】

事業名	担当課	課題・問題点	制度の啓発周知度	他の部署との連携	施策の総合検証	今後の方向性
保育・教育施設における安全対策	学校教育課 子育て支援課	○特になし(学校教育課) ○新築・建替の保育園への防犯カメラの設置(子育て支援課)	できている(学校教育課) 概ねできている(子育て支援課)	連携が不要な事業(学校教育課) 連携が不要な事業(子育て支援課)	良好(学校教育課) 良好(子育て支援課)	継続(学校教育課) 継続(子育て支援課)
学校における防犯教室等	防災行政課	○防犯協会による中学一年生を対象にした防犯教室は、清洲・春日中学校でのみ開催されている。生徒に平等な機会を提供しているかという点で若干の疑問がある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
非行防止に向けての体制づくり	防災行政課 社会福祉課	○少年犯罪は年々多様化しており、従来の啓発だけでは抑止効果が期待出来ない部分もあるかもしれない。しかし、定期的な街頭補導活動等は当事者だけでなく、市民に対する監視の目を育てる意味では重要である。(防災行政課) ○登下校時以外においても見守りを行い、子供が安心して生活できるようにする。また、人権啓発活動を行うことにより、人権に対する理解を深めていく必要がある。(社会福祉課)	概ねできている(防災行政課) 概ねできている(社会福祉課)	概ね連携(防災行政課) 常に連携(社会福祉課)	概ね良好(防災行政課) 良好(社会福祉課)	継続(防災行政課) 継続(社会福祉課)
犯罪などに関する情報提供する	防災行政課 学校教育課 子育て支援課	○空き巣被害が深刻な地区等については、警察と協同でショッピングセンターでの啓発活動・自主パトロール隊への情報周知等を積極的に行っていく必要がある。(防災行政課) ○不審者情報があった場合、迅速に対応し他機関と連携しながら子どもを犯罪から守ることができるよう今後も適切な方法を検討していく。(学校教育課) ○不審者情報があった場合、迅速に対応し他機関と連携しながら子どもを犯罪から守ることができるよう今後も積極的に適切な方法を検討していく。(子育て支援課)	概ねできている(防災行政課) 概ねできている(学校教育課) 概ねできている(子育て支援課)	概ね連携(防災行政課) 常に連携(学校教育課) 常に連携(子育て支援課)	概ね良好(防災行政課) 概ね良好(学校教育課) 概ね良好(子育て支援課)	継続(防災行政課) 継続(学校教育課) 継続(子育て支援課)
地域における防犯活動の支援	防災行政課	○市防犯協会・少年補導委員会等の補助金該当団体を除いて、成果実績や活動内容を自主性に任せている部分も大きいため把握しきれない部分もある。	概ねできている	概ね連携	概ね良好	継続
子ども110番の家	学校教育課	○事業について地域住民に周知し、登録数の増加を図る。	概ねできている	常に連携	良好	継続
街路灯の整備	土木課	○市民満足度調査において、「防犯・交通安全対策の充実」について、重要度が高く、満足度が低い結果となっており、市内には未だに暗いところも多く、地域の要望に応えながら計画的に整備していかねばならない。 また老朽化した灯具も多く、灯具の入れ替えも必要になってきており、電気代の抑制・修繕箇所を減少することも考慮し、灯具取替えの時期にあわせLEDや長寿命ランプへの切り替えを今後も実施していく。	できている	概ね連携	やや不良	継続